

提言の取りまとめに向けて

提言書の構成項目

①部会で選定する指標名 = 政策指標 ※他の指標の追加も可

政策指標(産出額)に加え、農山漁村に係る指標「耕地面積」の選定をお願いします。

②総合計画に掲載している現状値と数値目標

③背景 と 提言 をセットで記載

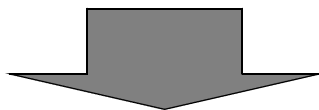
A

B

A：数値目標達成のための課題や障壁

B：課題等をクリアするための方策

※参考資料 3 を参照



意見交換に当たっての視点：

- ・「稼ぐ農林水産業」の実現に向けた課題とは何か？
- ・その解決にはどのような方策が考えられるか？

【政策指標等設定の考え方について】

各都道府県の農業・林業・漁業全体の実態を価値額として把握できる統計数値を政策指標として設定している。

●農業産出額 現状値：2,572億円（2024年）→ 目標値：2,659億円（2029年）
（+87億円）

米：1,652億円	米：1,674億円（+22億円）
野菜：330億円	野菜：360億円（+30億円）
果樹：98億円	果樹：99億円（+1億円）
花き：25億円	花き：27億円（+2億円）
畜産：438億円	畜産：464億円（+26億円）
その他：29億円	その他：35億円（+6億円）

目標設定の考え方

主要作物の作付面積・生産量・単価の推計をベースに産出額を算出。

農業産出額は、令和11年で2,659億円を見込み、令和6年から87億円増（3.4%増）。米の生産拡大や複合型生産構造の確立などにより、米、野菜、畜産の産出額の増加を見込んでいる。

●林業産出額 現状値：187億円（2023年）→ 目標値：240億円（2029年）
（+53億円）

栽培きのこ類：39億円	栽培きのこ類：46億円（+7億円）
製材用：57億円	製材用：94億円（+37億円）
合板用：42億円	合板用：54億円（+12億円）
チップ用：15億円	チップ用：15億円（+0億円）
燃料用：15億円	燃料用：19億円（+4億円）
輸出用：19億円	輸出用：11億円（-8億円）

目標設定の考え方

合板工場におけるR4火災事故からの復旧や大型製材工場の本格稼働、木質バイオマス発電所の新設など、原木消費量の増加に伴う林業産出額とした（※R5比→R11+28%）。

●漁業産出額 現状値： 30億円（2023年）→ 目標値： 32億円（2029年）
（＋ 2億円）

漁業：	30億円	漁業：	31億円（＋ 1億円）
蓄養殖：	0.3億円	蓄養殖：	1億円（＋ 1億円）

目標設定の考え方

漁業就業者を推定（2023年：630人→2029年：469人）し、一人当たり漁業産出額（2023年4,648千円→2029年6,584千円）を乗じて算出した。

●耕地面積 現状値：145,600ha（2024年）→ 目標値：144,500ha（2029年）
（－1,100ha）

目標設定の考え方

農林水産省（面積調査）統計データのH30年度からR6年度までの数値を用いたR7年度の推定値は、145,300ha。

単純平均により毎年300haずつ減少するものと推定されることから、R8年度以降の推定値は、

R8年度：145,000 R9年度：144,700 R10年度：144,400 R11年度：144,100

推定される毎年300haの減少面積に対し、農地保全活動や遊休農地対策等の農山村振興施策を総合的に展開することにより、農地の荒廃を抑制し、毎年200haの減少に抑える。

よって、R8年度以降の耕地面積の目標値を次のとおり設定。

R8年度：145,100 R9年度：144,900 R10年度：144,700 R11年度：144,500